

わが町の 議会だより

No. 58

平成20年
4月25日

題字 上富良野中学校 書道部 2年 遠藤 冴月



わが町で開催された「北・北海道銃剣道大会」団体戦1部・3部 第4 特科群優勝！

主な記事

- 平成20年度「町の予算が決まる」..... 2 P
- ラベンダーハイツ給食業務民間委託 見送り..... 3 P
- 「学校給食事務について」など8名の議員が町政を問う..... 8 P
- 「広域連合・議会改革」議会運営委員会行政調査報告..... 16 P
- もっと知りたいまちのこと No.3 「ボランティア活動にズームアップ」..... 18 P

3月定例会

総額予算決定 平成20年度当初予算案 一部修正し可決

前年対比9億200万円14.4%の増

一般会計総額71億5200万円

実質0.6%減

各会計予算総額前年対比実質3.5%の減



平成20年度上富

良野町各会計予算は、3月4日に執行方針とあわせて

議事に提案されました。なお十分な審議を要するため、予算特別委員会を設置し、3月13、14、17、18日の4日間集中審議され、

厳しい財政状況の中、限りある予算

に対して、その編成に対する考え方、効果について主眼をおき、住民サービスの内容、受益者負担と公平性について厳しい質疑が展開されました。

その結果、一般会計、後期高齢者医療特別会計について賛成、反対の立場からそれぞれ討論を行い、賛成多数で原案可決。ラベンダーハイツ事業特別会計については、給食業務民間委託を現状のままとするよう修正し、賛成、反対討論のうえ、修正案が可決されました。

他の会計については、討論は行われず、起立採決の結果13項目の審査意見を付して可決しました。

予算編成にあたっては、益々厳しさを増す財政状況を想定し、緊急度や必要性についても再度検討が加えられました。

しかし、財源不足を全て解消するには至らず、最終的に預金(基金)から2億237万円を使うこととなりました。

一般会計については、地方債の補償金免除による繰上償還制度を利用した、1億7620万円の償還や、畜産担い手育成総合整備事業7億6千万円などで、総額71億5千200万円になります。これらを差引くと、前年対比0.6%の減となります。

特別会計は後期高齢者医療特別会計が増えて7会計となり、また、水道事業会計については、自己資金対応で1億3千419万円の繰上償還を行いました。

全会計総額117億7千68万円となり前年対比3.5%の増で5年ぶりの増額予算となりましたが、繰上償還分と畜産事業分を除くと前年対比3.5%減の財政規模となりました。

賛成 11

歳入において町財政を見たとき、税収の伸びが見られないなど、一層厳しくなっている。

町民の多様な要望が増える中、要望に応えるための財源確保と歳出の削減に努力と苦勞のあとが感じられる。今後の予算執行にあたっては、審査意見等その内容を十分に踏まえ、さらなる改革の中、執行されるものと判断し今予算に賛成する。

反対 1

所得においては格差が生じ、給与所得も年々抑制される中、燃料高、物価の引き上げと家計のやりくりも大変になってきている。そういうときこそ町においては住民の暮らしを守る立場からの予算編成を行うべきである。

町の雇用の拡大をさらに喚起させるような政策の実施を求めるとともに、住民の暮らしを守る立場から、今回の予算に対し反対する。

一般会計について討論が行われました。

? 補償金免除の繰上償還制度とは?

今まで、国などから借りている借金を繰上償還する時は、今後支払うべき利息を補償金として支払わなければいけませんでしたが、平成19年度から平成21年度までの3年間にについては、5%以上の高金利の借金は補償金を払わずに繰上償還できる制度です。

後期高齢者医療特別会計について 討論が行われました

平成20年度各会計予算の概要

会計別	予算額(円)	前年比(%)
一般会計	71億5,200万	14.4
国民健康保険特別会計	13億9,355万	1.6
老人保健特別会計	1億1,332万	90.3
後期高齢者医療特別会計	9,502万	皆増
介護保険特別会計	6億6,926万	2.3
ラベンダーハイツ事業特別会計	2億7,880万	1.8
簡易水道事業特別会計	1億 185万	16.8
公共下水道事業特別会計	6億4,285万	78.1
水道事業会計	4億6,827万	54.3
病院事業会計	8億5,574万	4.8
合計	117億7,068万	3.5

賛成 11

わが町においても医療保険会計は限界にきているが、これ以上の繰入金が増大は他会計の根底を揺るがす状況も考えられる。公助、共助、自助の精神にのっとり、また、平成20年度においては緩和措置もとられ、さらに、この制度が2年で見直しをかける制度であることから賛成する。

反対 1

この制度では保険料が本人の意思に係わらず年金から天引きされるため、分納相談の窓口が閉ざされる。また、診療の制限、診療報酬の削減など、医療からお年寄りを遠ざけようとしている点でも問題がある。子どもからお年寄りまで、安心して暮らせる制度の充実があつてこそ町民の暮らしが守れると考え、この制度の見直しを要請し、中止を求め反対する。

人事案件

人権擁護委員に三島功士氏、小澤治子氏の両氏を適任と答申しました。
現在、町には3名の人権擁護委員がいますが、三島氏の任期が平成20年9月30日で満了となるため町長から諮問されたものです。また、人口1万人から1万5千人の市町村では5名以内の人権擁護委員を選任するように

なっていることから、この機会に1名増員して推薦するため、新たに小澤氏が諮問されました。
町長は住民の中から広く社会の実情に通じ、人権擁護に理解のある方を議会の意見を聞いて、法務大臣に推薦することになっています。

ラベンダーハイツ事業特別会計予算の質疑

問 給食業務委託費について伺いたい。
答 行財政改革に基づいて、平成20年4月から委託の方向で検討している。管理費1千500万円、食材が1千200万円、合計2千700万円、185万円の削減になる。

問 これまでも工夫して給食業務に取り組んできている。なぜ20年度から委託なのか？
答 17年度の介護保険の改正により、18年度、1日の食費が2千220円から1千380円に引き下げられた。18年度1食713円の給食費がかかったため、500万円程赤字となり厳しい運営となっている。

問 民間委託の取り組みは賛成するが、抜本的に見直しをすべきでは？
答 職員がコスト感覚を持ち、少しでも赤字を減らすため、経営改善に取り組んでいる。多少の削減でも将来に向けてとても重要と考える。

問 雇用・食材の町外利用が増える。地元業者の育成に十分時間と配慮が必要と考える。また、委託内容が不十分で、また審議が必要と考える。これまでも地元業者に対し照会もしている。もっと積極的に取り組んでいただき、早く育ってもらいたい。

ラベンダーハイツ事業特別会計予算の修正案に対して討論が行われました。

反対 3

現在の地方自治体は財政再建が重要なテーマであり、次へと繋がる第一歩である。痛みを伴わない改革などありえず、現在の状態を続けることは、財政を圧迫し、赤字を増やしかねないということから提案されたものと考え、この修正案に反対する。

賛成 9

民間委託の考え方は理解できるが、この委託が抜本的な行財政改革には繋がらない。各会計間で職員の適正配置を取った上で、様々な財政改革をすることが望ましいと考える。また、委託による地元食材の利用、雇用の維持に対する不安も否めず、地域企業の育成などの論議もなく、時期尚早と考え、修正案に賛成する。

後期高齢者医療制度の導入

政令で定める法律により北海道後期高齢者医療広域連合の条例で定めるほか、町は保険料の徴収及び法令で定める事務（被保険者の資格取得・喪失等の各種届出の受付、被保険者証の引渡し・変換、医療給付等を行うための手続きに関する事務）、葬祭費の支給に係る受付、保険料の額に係る通知書の引渡し、保険料の徴収猶予・減免に係る申請書の受付、通知書の引渡し、その他必要な事項について制定するものです。

この条例に対し、討論が行われました。

賛成 1

従来の国保では75歳以上の方には資格証明書は発行していなかったが、この制度にはそれが含まれ、誰もが安心して最低限の生活を営むという点や、住民医療の抑制を図ろうとしている点にも問題があり、反対である。

賛成 12

町が行う事務事業として明確に条例で制定しなければ、保険料の徴収ができず、被保険者の資格取得、喪失等の受付、各種手続などが行えず、医療保険制度の適用が受けられなくなるなど、制度の履行に対し不利益が生じる。条例にある督促、延滞金、罰則は他の税及び保険料の公平公正の原則から見てもやむを得ないと考え賛成する。

技能労務職員の職の廃止

改正内容の1点目は、給料月額を減額する期間は平成20年4月1日以後、対象者が退職するまでとすること。

2点目は、減額の対象は技能労務の職にある職員とすること。

3点目は、一般職になることによる給料の見直しは5年間で段階的に減額すること。これらにより、技能労務の職にある職員の給与水準などの適正化を図るべく条例の一部を改正するもので、平成20年度の効果予想額は213万円を見込んでいます。

この条例に対し、討論が行われました。

賛成 1

車両班そのものを5年後に廃止するという内容であるが、将来における民営化のあり方の展望を見出せない。全面的に民営化するのではなく、必要最小限の職員を配置して維持管理することが必要ではないか。また、民営化された場合の車両管理等の問題点も提起されていないという点で、反対する。

賛成 12

技能労務職の廃止により、職員を様々な課へ配置ができ、行政改革が図られる。さらに、職員定数が減少する中であつても住民サービスの対応にも効果があると考え、賛成する。

意見書を国などに提出しました

雇用保険の特例一時金を50日分に戻し国の季節労働者対策の強化を求める意見書

- 1 雇用保険の特例一時金の削減を一時凍結し、「50日分」に戻すこと。
- 2 「通年雇用促進支援事業」予算を大幅に増額するとともに、季節労働者の実態に即した弾力的運用をはかること。また、季節労働者の冬期の失業に対し、公的就労と所得償還など実行ある追加対策を講ずること。
- 3 大都市圏に偏重した公共事業を抜本的に改め、地方における生活密着型の公共事業を拡大すること。また、政府として地方自治体の財源確保措置を講ずること。

納付回数の変更

個人町民税

2回 4回

国民健康保険税

6回 8回

個人町民税の納付回数が2回から4回に、国民健康保険税の納付回数が6回から8回にそれぞれ変更になります。このことにより、各納期当たりの納税額を少額にし、納税しやすい環境を整え、納期内税額の確保及び収納率の向上を図ります。

予算特別委員会での質疑から

地方交付税の増の要因は、今後の国の地方交付税に対する考え方は。

答 国の地方再生を目的とした地方再生対策費が創設されたことにより交付税が増になった。2006年からの骨太方針により2011年度にむけて、プライマリーバランスの黒字化へ改革の途中であり、歳出は抑制傾向となっていくものと考えられる。交付税は一定程度削減されていくものとして資金計画を作成した。

他市町村 一般廃棄物処理料負担のうち南富良野町の分はいくらか。また受入れに伴うクリーンセンターの経費と収入の差はいくらか。
答 平成13年4月から各町村からの受入れ処理をしている。平成20年4月から南富良野町の一般ごみの受入れをすることで1千円ちよつと増えている。費用と収入の差は約600万円の増である。

自衛隊基地対策 について沿線の取組みはどうなっているのか。

答 平成16年に削減計画で約1千100人と示されている。地域をあげて見直しをしてもらおうと沿線6市町村で反対要望運動を、また、沿線議長とともに4月に中央要望を行いたいと考えている。

防災対策 での誘導標識、外国人への看板設置、備蓄の準備はどのようになっているのか。

答 町内の案内表示板は英語標記のみで中国語標記はない。設置には相当な費用がかかることが想定されるため、観光施設、外国人に対する誘導・案内の手段は当面別な手法で対応し、時期があれば新規施設には併記することも検討したい。緊急の食料調達手法が非常に発達して必要に応じ調達できる流通が整ったので現在は備蓄を取り止めた。

庁舎施設の委託料で清掃が安くなり、警備が高くなった理由は。

答 清掃・警備・暖房設備等管理を一本化して契約した。積算基準を統一したため増減ができた。

発達支援事業の指導員の研修、処遇の改善が必要では。

答 研修会に年次計画で派遣している。中富良野町と共同で設置しているの協議をしながら対応を図っている。

一時・特定保育事業の人数はどれぐらいを想定しているのか。

答 一時保育は3施設で年間150名を想定している。ファミリーサポートセンターを平成20年度中に立ち上げ、支援できる会員を募り進めたい。



妊婦健診の助成回数になぜ差をつけるのか。

答 受診の必要性を理解させず、大事なときに健診に行かないという実態もあることから、一方的な受診券の配布ではなく、臨時助産師を配置して、質の高い指導を行うとともに助成回数を3回とした。さらに低所得の方には5回とした。

合併浄化槽の設置数、普及率は。町の目標と補助事業の将来は。

答 平成25年までの計画と比べている。平成15年から19年まで121基設置した。道にも補助事業継続を要望している。平成25年過ぎても希望があれば継続してその状況をみきわめながら対処していく。

農業後継者対策事業で若い農業後継者が横の連携をとるためにもう少し予算を増額すべきでは。農業系の大学に行く学生に対して支援を行う制度をもつては。

答 十分な予算措置はされていないが、第6次農業振興計画で十分検討したい。

業振興計画で十分検討したい。



しろがね 土地改良区償還事業円滑化資金は、年々減ってくるものではないのか。

答 土地改良区に貸し付けられているお金で、農家個々の負担金のうち、現在9件が未納だが、美瑛の改良区の職員とともに個別に訪問して収納に向けて努力している。

商工振興事業補助のな

かに中茶屋の補助も入っていると思うが、自主運営はできないのか。

答 中茶屋の運営に215万円補助している。そのうち82%が人件費と家賃となっている。商工会でも自主運営できるよう、出品者NPO法人「たんぼぼ」とも協議していく。

駅前再開発の現在の状

況と見通し、町の構想は。
答 平成20年は町から20万円の予算でソフト事業として、「ご当地メニューづくり事業」を実施する。中心市街地活性化事業は、次期総合計画の中で十分に見極めていきたい。

富良野・美瑛 広域観光

で洞爺湖サミットのプレスツアーが後藤純男美術館にくるので町として後押しする考えはないか。また、美術館の前に電線があり景観を阻害しているので何とかならないか。

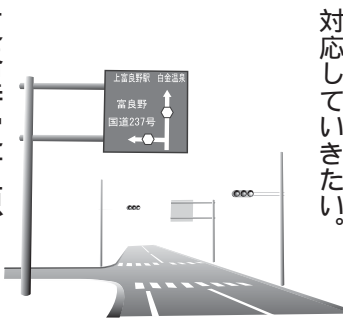
答 北海道からプレスツアーとして後藤純男美術館視察の話があった。旭

川で夕食会の予定だが、具体的な内容は未定で、管内の各市町村のポスター、名産品を展示するコーナーを設置する場合は協力していきたい。電線の地中化がどれぐらいの投資でできるのか、可能性を含めて関係方面と協議を試みたい。

町道維持費の予算を増

額し、春先の道路陥没の補修スピードを早められないか。

答 車両の通行、人の通行で危険度の高い箇所を優先に解消を図っていききたい。財政の状況をみながら対応していきたい。



道路特定財源がなくな

った場合の影響額は。

答 地方譲与税1億6千140万円、自動車取得税交付金4千120万円を計上しているが、税率が本則に戻った場合、1億1千万円ぐら

いの影響額になる。

公営住宅の建替計画はど

のようになっているのか。
答 富町団地を平成20年から22年までの3カ年計画で3棟35戸建て替える。泉町、扇町団地は計画的に修繕していく。

学校給食費は、平成17

年にも値上げした。現状維持にできないか。

答 年間1人当たり、児童で4万7千500円、生徒で5万6千500円。上がる幅は児童で2千280円、生徒で3千400円の増である。安心、安全な給食を求めていくためにはどうしても値上げが必要で、食料費の負担は保護者負担が原則である。

上富良野高校の振興対

策を見直すべきでは。

答 2年前から就職に強い学校として力を入れ、資格取得のための助成をしている。進学率の向上のための対策を協議していく。

学校教育アドバイザーの

学校指導の立場、勤務内容条件は。

答 必要の都度、委員会に出席いただいてアドバイザーをもらう。週30時間で4日か5日の勤務の予定である。



私立幼稚園 特別活動振

興補助の内容は。対象児は増加傾向にあるのでは。

答 居残り対応人件費、研修等を含めた経費である。幼稚園志向から保育所志向に変わってきている中で、私立幼稚園としての取り組みとして行われている。幼稚園と十分な打合せの中で決めている。

住宅手当(持ち家)を

減額すべきでは。

答 借家の住宅手当を払うより600万円の削減になる。また固定資産税も170万円ぐらいい入り、合わせて70万円の効果となり財政負担の軽減になる。

国保税の収納ランクは

全道でどれぐらいか。

答 平成18年の決算ベースで現年度・過年度合計で38位。町税は27位。平成16年は町税51位、国保税74位だが、上位は小規模の町村となっている。人口1万2千人規模では上位に位置している。

後期高齢者 医療特別会

計の予算は何世帯、何人位か。今後予算は増えるのか。

答 1千80世帯、1千152人。均等割4万3千143円、所得割9.63%で2年目までは同じだが3年目から見直しされる。老人医療費が著しく低い場合6年間安くなる。

ラベンダーハイツの

給食業務委託の内容は。

答 行政改革に基づき平成20年度から予定している。管理費で1千500万円、食料費で1千200万円、合計で2千700万円を計上している。調理業務は8名で行っているが、正職員1名は配置転換、臨時職員は委託会社に雇用をお願いしている。

平成20年度審査意見

<p>町 税 課税客実態把握に努めるとともに、税の収納対策については努力の成果が見られるが、引き続き収納率向上に努めること。 税率については、町内の経済状況を鑑み検討されたい。</p>	<p>産業振興 中心市街地の活性化については関係団体と十分協議し、町が牽引し早期に方向性を示すこと。 農業・商業の後継者育成に努めること。 自衛隊の現状規模の堅持に最大限努力されたい。 豊かな観光資源を活かした観光振興を図られたい。</p>
<p>国営事業返還金 国営事業返還金の収納に努力をすること。</p>	<p>次世代育成 ファミリーサポートセンターの設置と放課後子どもプラン事業の運営にあたっては、指導者の人材確保と事業内容の充実に努めること。</p>
<p>防 災 防災対策として、防災体制の整備と住民の意識向上に努めること。</p>	<p>町道の維持管理 町道維持及び舗装については、計画的かつ早急に整備されたい。</p>
<p>委託業務 委託業務は町の活性化なども考慮し、効果的に実施されるよう努力すること。</p>	<p>学校給食 食育計画に基づき、児童生徒の安心・安全な食材を地産地消ベースに進められたい。 給食費の改正については、十分利用者と協議し、理解を得ること。</p>
<p>見晴台公園の指定管理 施設設置効果が十分反映されるように努めること。</p>	
<p>諸 手 当 諸手当について見直しを図られたい。</p>	

審査意見とは？
本町議会は新年度予算について、特別委員会に付託して審査することになって
います。
予算の議決において、町
理事者に対して、審査意見
を付して予算の執行に適正
を期するように求めたもの
です。

後期高齢者医療特別会計

制度の移行に際し、その内容を住民に十分周知し徹底されたい。

ラベンダーハイツ事業特別会計

給食業務について従来どおりとし、修正を要する。よって修正案を提出する。今後は地域振興も十分考慮し、慎重に検討すること。

病院事業会計

小規模老健の移行に際しては、収益の向上にも努めること。
住民に信頼され必要とされる病院づくりに向け、引き続き努力されたい。

補正予算

「平成19年度上富良野町ラベンダーハイツ事業特別会計補正予算(第3号)」を厚生文教常任委員会に付託

厚生文教常任委員会を5回開催し、さらに議員協議会を1回開催して集中審議した結果、

民間委託の実施方針が明確でない。

地元関係団体や業者への照会や企業育成の情報発信が十分でない。

地産地消の観点から、地元食材の利用の減少が懸念される。

雇用者の給与、労働条件などの不安が大きい。

以上の理由から、さらなる審議が必要と判断して、平成20年度から給食業務を民間委託する内容の予算計上を認めない」とする修正案の提出となりました。

「上富良野町の基金に伴う関係条例の整備に関する条例」を総務産建常任委員会に付託しました。

「富良野広域連合の設置について」、富良野広域連合調査特別委員会を設置し、付託しました。

？委員会付託とは？

本議会において議題となっている議案等について、担当の委員会に詳しい審査を任せることです。

共同設置は考えもの

できるだけ町給食センターの利用を 施設の改修に多大な投資が必要 広域連合加入が最善



村上議員

村上 富良野広域連合で処理する事務の中に、学校給食共同調理場の設置・運営及び管理、学校給食の配送に関する事務とあるが、当面の間は富良野市、上富良野町、南富良野町の三ヶ所の給食センターをそのまま使用し、配送も自賄いで行うこととなっている。それであれば、平成21年4月1日から参加しなくてもいいのではないかと考えるが、共同処理はいつ頃からか。

現在行われている学校給食が今までと同じ安心・安全な状態で供給されるのか。共同で処理されると一ヶ所で4千700食となり今までよりも、食材、冷凍食品も多く使わざるを得なくなり、人件費を節減して

も手間賃プラス加工賃込みの値段では、経費的に変わらず、上富良野町の食材を取り扱う商店、雇用、町内業者の利用も減り、経済活力を失うことになるのでは。

また、町の活力がなくなったり、雇用の減少、学校給食の低下を招いたというようなことがあったとき、広域行政の責任の所在はどうなるのか。

町長 今加入しないで、途中で上富良野町の給食センターが使えなくなった時にあとから参加するのは難しく、自賄であれば支障はないので、今



上小の学校給食のようす

回参加する。基本的には平成23年、3年後を目途に対応したいということを進めている。現在の状況から見ても3年後くらいではないか。

将来的には児童・生徒の減少が予測される。安心で安全な給食の提供をはじめ、地産地消も念頭に置き、5市町村による協議を慎重に進めていかなければならない。

経済活力については危惧している。しかし、ある面では食材提供者は上富良野町よりも大きな広域給食センターに納入するチャンスも生じてくるというふうに考えている。

雇用の問題については最善を尽して対処しなければならぬと考える。

責任の所在については、当然にして5市町村で組織している広域連合の組織の中で、全て責任は対処していくと認識している。

精神障害者の働く場を

村上 精神障害者の就労支援として、NPO法人を支援して障害者の方に就労の場を提供してはどうか。

町長 現対象者のニーズや個々の障害者の特性に配慮した中で、町内事業者やNPO法人と連携、協議を深めながら、今後も就労の場の確保に努力していきたい。

配食サービスの見直しを

村上 高齢者向け配食サービス700円の料金の見直しを。

町長 民間福祉施設の活用も視野に入れた配食サービスの実施方法について社会福祉協議会と協議をするよう指示する。



和田議員

上富良野高校存続のため

魅力ある学校づくりを

高校存続は町行政の最重要課題

和田 上富良野高等学校は平成17年に校舎の全面改築が落成し、生徒数の増加が期待された。しかし、19年には特例二間口すら維持できず、一間口となり、その一間口の定数にも満たない現在、平成23年以後の配置計画の見直し時には、厳しい結果が予想される。町内から全日制高校がなくなることは損失の大きさを考える時、町長が本気で高校の存続を考えているのであれば、少なくとも町内の中学校卒業生の半数以上が通ってくれる魅力のある高校づくりに取り組みべきではないか。

たとえば鹿追町のように、中高一貫教育を取り入れて成果を上げている町もある。

中高の枠を越えて一貫指導を受けられるような環境づくりをして、今、全道のトップレベルにある吹奏楽や陸上競技の部員達にどのような学校にしたら地元の高校に通ってもらえるか。保護者、生徒一人一人と心を熱くして話し合っていたきたい。

町長 上富良野高等学校の存続は、わが町が抱える行政課題の中でも、最

優先・最重要課題の一つである。今までも入学準備金の交付、資格取得に対する助成、また、町民あげての校舎新築の署名運動を展開し、存続の要望運動に取り組んできた。存続の大きな判断材料である地元の中学校からの進学率の低さが、道教委からも指摘されているが、あくまでも生徒や保護者の意思を尊重せざるを得ないことから、進学率の向上に至っていない。小規模校として就職に強い高校を目指し、



存続が望まれる上富良野高校

様々な検定や資格取得に力を注いでいるが、今後配置計画がどのように進められるかを見極めながら、なんとしても存続できるように努力をしていきたい。

廃校になった学校の校歌をCDに保存しては 実現に向け検討したい

和田 上富良野町ではこれまで小学校が6校、中学校が2校廃校となり、統合された。これらの学校の卒業生にとつて母校がなくなる事ほど寂しいことはないと思う。せめて校歌をCDに残して同窓の集いなどで利用してもらったり、希望者に頒布してはどうか。また、現在ある学校の校歌も含めて考えてはどうか。

となると一部資料が残っていない学校もあって、その実現には同窓生はじめ多くの方々の協力や支援が必要であり、今後実現に向け検討したい。

教育長 校歌をCDに録音し保存することは大変意義深いことと考えるが、現在ある学校のCD化は容易であるが、廃校になった学校



平成18年に廃校になった清富小学校



米 沢 議 員

学校給食事務の広域化の見直しを

学校給食事務の見直しは考えていない

米沢 学校給食の広域化については十分な理解が得られていないし、地元の経済的な波及効果も後退すると考えるが、見直しすべきでは。

町長 教育委員会の決定を経て広域連合への移行を行うものである。保護者の方々は学校給食の広域化についてのチラシを配布し、説明を希望されたPTAには、出向いて話をしているので一定のご理解を得ているものと認識している。

懸念される地産地消や地元経済への波及効果についても念頭においた中で、5市町村による協議を慎重に進めて行

地球温暖化対策の町の取り組みは

環境への負荷を減らす計画を策定したい

米沢 いま各自治体では、温暖化防止対策の取り組みが強化されてきていますが、町においても促進法に基づいた実行計画を策定する必要があるのでは。

町長 地球温暖化対策の推進に関する法律ができ、国、自治体、事業者、国民が一体となつて、地球温暖化対策に取り組むことになった。町において地球温暖化対策地域推進計画は、まだ策定していないが、で

きるだけ早い策定に向けて努力していく。

市町村事業所としての取り組みは、地球温暖化対策推進法において、環境への負荷を減らすための目標を設定し、計画を策定することによって推進するよう規定されていることから、地域推進計画にあわせて実行計画を策定するよう努めたい。

その他の質問

Q 町民が利用しやすい「かみん」の活用について。

A 町民にとって利用しやすい施設になるよう改善したい。

Q 介護認定者に対する生活支援などの充実を。

A 事業の充実に努めたい。

Q 特別支援の子ども達の放課後対策について

A 実態把握を含めて、関係者との協議を進めたい。

白銀荘の割引制度を

一般町民も対象にしては燃料高騰などもあり難しい課題である

米沢 白銀荘利用客への割引制度は、お年寄りを対象としています。一般町民も含めた中で検討しては。

町長 冬期間におけるお年寄りの割引については、上富良野振興公社と同地域の民間事業者とが協議のうえ、実施している。

利用料金の割引制度については、指定管理者が十勝岳温泉地区の民間業者との関係などを十分考慮し、判断されることに期待したい。ただ、現在燃料の高騰などで営業面においても厳しい実態があるので、難しい課題でもあるのではないかと考えている。



町学校給食センター

町立病院に多目的トイレの設置を 設置に向け対応する



岩崎 議員

岩崎 町立病院には、障害者や車いす患者、オムツ替えの利用者などが来院されるが、この方々に使っていたく多目的トイレがない。

人間の尊厳と利用者のプライバシーの確保のため、多目的トイレを設置すべきでは。

町長 指摘のとおり、車いす利用者の患者が非常に多くなっている。

場所的な問題、費用の課題などがあるが、多目的トイレの設置に向け、既存の検査用トイレの改修等を行い、前向きに取り組んでいきたい。



町立病院の様子

町立病院に新しい診療科目の開設を 眼科を開設したい

岩崎 上富良野町立病院は現在、常勤医師3名で内科と外科、平成17年度から泌尿器科、平成20年には循環器科を開設、あわせて4科の診療科目で診療している。

今後における病病連携の強化と新しい診療科目の開設について考えを伺いたい。

町長 町民の利便性を重視し、眼科の開設に向けて協議を重ねている。富良野協会病院との病病連携の中、センター病院としての対応などを見極めて

ながら、医師の体制が整備され、また、町立病院の看護師に研修をさせ、体制が整った段階で早急に実施していきたい。

町パークゴルフ場を 4コース36ホールに増設を 第5次総合計画での位置付けに努める

岩崎 平成15年、日の出地区に開設した上富良野町パークゴルフ場は、3コース27ホールであるが、これでは国際大会公認の4コース36ホールという基準をクリアしていない。第5次総合計画にパークゴルフ場増設を組み込み、完成させることが肝要と考えるが。

また、パークゴルフ場のクローズ時期について、期間限定でなく、初雪の降る直前まで使用できるよう条例改正を。

教育長 パークゴルフの普及を図るうえから、36ホールは

大変望ましい。増設の必要性や緊急度を十分把握し、政策調整会議等での審議を経て、第5次総合計画に位置付けるよう努めたい。クローズの時期については、冬を迎えるための作業や適切な管理などを行う期間を考え、どこまで開設期間を延長できるか検討したい。

町長 今9ホールを設置するとなれば、用地買収、造成の問題がある。次期総合計画の中で財政状況を見極めながら対処していく課題と考えている。



中 村 議 員

パークゴルフ場の開設期間を民間活力の発揮と利用者の要望に応え変更を 20年度は法的に経営的に協議をし 21年度に抜本的に条例改正をする

中村 パークゴルフ場の開設期間は「4月29日～11月3日」と条例の定めにより、民間活力を發揮させる指定管理者制度としての営業努力の阻害要素となっている。

町長、副町長は平成18年5月の課長会議で、指定管理者制度は費用の効率化とサービスの向上を求めているが、条例等が足かせの実態である。規制緩和の時代、弾力性のある指定管理業務ができるように措置し、状況に即した条例等改正を検討すべき」と指示して

より弾力的な開設期間が設定できず、民間活力を發揮できないことは認識している。

4月29日から11月3日の開設期間以外については、指定管理者と協議を進め、期日以前の開設に法的に、また、経営的に問題がないかという点も含め話し合いを進める。

平成21年度からの指定管理者再募集まで、開設期間を含め、民間活力が發揮できる条例改正を本年6月または9月に考えている。

いるが、そのままの状態である。富良野市のパークゴルフ場は民間活力が發揮され、利用者拡大と大きな営業成績をあげている。

平成20年度は4月29日以前と11月3日以降はシーズン券の適用を除外して、一日券または回数券の使用により利用拡大を図る対策を行うとともに、21年度からは、民間活力の發揮と利用者の要望に応える立場で、早期に条例改正をすべきである。

教育長 指摘のとおり条例に



オープンが待たれるパークゴルフ場(平成20年3月28日写す)

持家者職員の住宅手当を国家公務員に準じれば633万円の削減になる 国家公務員とは条件が違うが他市町村を参考に検討課題とする

中村 当町の持家者職員の住宅手当は1か月7千円が住宅

取得時から退職時まで支給されるが、国家公務員は取得から5年間のみ2千500円である。

国家公務員と役場職員が仮に35歳で持家者になった場合、60歳定年で比較すると、左記の表のとおり、195万円の差となる。

中富良野町は本年4月から国に準じて実施し、480万円の財政効果と報じられ、当町が実施すれば、633万円の削減効果

	持家後の5年間	仮に35歳持家となつて60歳定年
国家公務員	1 ヵ月 2,500円	150,000円 (2,500×12ヵ月×5年)
町 職 員	1 ヵ月 7,000円	2,100,000円 (7,000×12ヵ月×25年)
上記の差	1 ヵ月 4,500円	1,950,000円

果が図られるので、町長の決断を強く求める。

町長 国家公務員は全国に広域的に異動させることから宿舎を整備して住宅確保をしている。一方町村職員は勤務地が限定され、その地に定住しつづける実態にある。従って、借家人居から持家を促進させることで、住居手当の縮減につながる意味合いもあり、高額な持家手当になっている。今後は他市町村を参考に制度的に矛盾のないよう見直すことも検討課題としている。

その他の質問

Q 指定管理者の評価は、単年度ごとの評価も導入すべきでは。
A 四半期ごとの報告を見極めて、問題があれば指導する。
Q 図書館閉架書庫に収蔵の貴重図書のリスト公開による閲覧を、A リストを作成し、図書館に掲示、周知を行い要望に応えたい。



今村 議員

上富良野町地域防災計画の整備状況は 不十分な箇所もあり整備する

今村 上富良野町地域防災計画の整備状況について伺いたい。

計画の中に「住民組織の協力を要請…」とあるが、具体的にどのような組織なのか、その組織づくりの進捗状況は。

防災体制の強化とその整備状況は。

観光客や来訪する外国人などのための避難標識や広報誌等の多言語化の整備状況は。安心・安全な上富良野町の観光PRにもなり観光人数も増えると考えが。

上富良野町国民保護計画の今後の取り組みは。

国民保護計画の説明資料に

いて新生組織化を終え、3月4月の年度更新時に任期を迎える住民会にも再編成を呼びかけている。

防災体制の強化については、「職員災害初動マニュアル」に基づき、防災訓練において、総合的な面から即応実行力を高めている。外国人などの観光客に対する対応は今のところしていない。登山者の扱いを含め検討したい。

上富良野町国民保護計画の取り組みについては、地域防災計画における防災対応と共通する部分も多く、十勝岳噴火総合防災訓練や、今後予定の地域防災訓練に加味し、十分な検討を加えて対応したい。

個人情報の開示については、国も相当改善を図って法の改正を進めているので、説明資料の配付については、法律を見極めた中で善処する。

十勝岳総合防災訓練の成果は インターネットを活用し運用範囲を拡大

今村 大正15年の噴火規模を想定しているとのことだが、平成19年度十勝岳噴火総合防災訓練について伺いたい。

訓練成果及びそれを反映した、次年度以降の本訓練の取り組み方（訓練形態）は。状況付与に基づいて参加者に意志決定を行わせる図上訓練への取り組みは。

住民の避難訓練への参加数の減少対策は。
町民の危機意識高揚のためにも防災士の養成が必要では。

町長 事前に訓練内容を組み立てるシナリオ方式によるを得ない実情である。このようなことから、情報の伝達と共有化を図るため、インターネットを活用した防災情報共有システムの運用範囲を昨年より拡大した。現在、各機関との出勤実績と意見評価の取りまとめの中で、来年度の訓練に反映する予定である。

図上訓練等については改善を図っているがなかなかうまくいかない、今後も関係機関の指導を受け十分考えていく。

避難訓練への住民参加は噴火直後は1千800人近くが参加したが、今年は200人そこそこである。今年は20年目でもあり、また、北海道火山サミットを実施するのでいろいろな防災事業を展開しながら防災意識の高揚を図っていきたい。

防災士の養成については、行政としても支援するものは支援すべく十分検討したい。



十勝岳噴火総合防災訓練の様子



谷 議員

第6次農業振興計画策定の基本姿勢について 地域性を最大限生かし具体的な方向付けをする

谷 第5次農業振興計画の最終年、総括する年にあたり、

課題と反省点があれば伺いたい。また、農業振興審議会に諮問し、答申を受けたことはあるのか。また、第6次農業振興計画策定にあたり、どのような基本的姿勢で臨むつもりか。営農基本条例の制定の考えは。さらに年次別財源を投資額としてこの振興計画の中に明示する考えはあるか。

町長 第5次農業振興計画は最終評価はまだしていない。

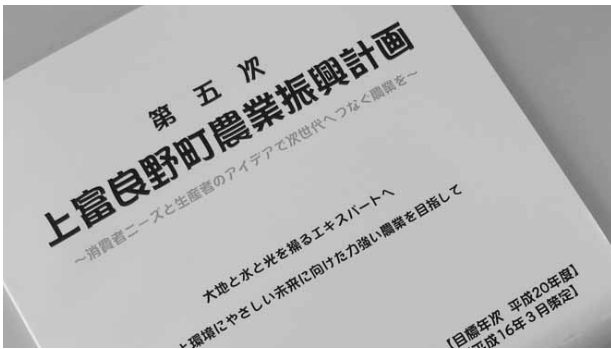
これから、それぞれの関係機関と最終評価をしていかなければならないと思っている。

農業振興審議会へは、一度

諮問した経緯を記憶している程度で毎年諮問はしていない。年に1回農業予算の説明をし、意見を聴いているのが現状である。この審議会を活用していくことがこれからの農業施策の中で重要であると思っている。

新計画の策定にあたっては、国の基本計画等の整合性を図りつつ、関係する組織団体等との地域課題を十分に踏まえ、地域特性を最大限にいかせるよう、具体的に方向づけをしなければならぬと考えている。営農基本条例の制定につ

いては、第6次農業振興計画の策定作業の中で、現行個別条例以外に具体的に必要性がでてくるとするならば、内容を含め制度に向けた判断をしなければならぬと考えている。年次別の投資額を明示することについては、中期、長期財政計画を硬直化させる恐れがあるため、3カ年のローリング方式で作成している総合計画実施計画を参照いただきたい。



町立病院の看護師確保の充実を 看護師不足には早急に対応する

谷 病院運営について課題は多くあると思うが、

看護師の確保問題についてはどのようにとらえているのか。修学資金貸付条例などを設け対応しているが見直しの考えは。環境づくりが考えられるが子どもの保育体制が考えられないか。

町長 看護師の人材確保のためにハローワークをはじめ、チラシ、ホームページなどで募集に努めているが、応募者が少なく厳しい実態にある。現行の修学資金制度が実態に合う適切な支援額なのかどうかなどについても、他のところとの額の調整等々も比較し、見直すべきものは見直すよう早急に検討していきたい。

保育の関係では、子育て中の看護師の方に、なんとかその方々が、保育を対応することに



看護師の朝の打ち合わせ

よって働いていただけなのであればということ、今、担当のほうには指示をして、体制整備をするように検討している最中である。何はともあれ、この看護師不足というものを何とか対応しなければならぬと思っています。



向山議員

富良野広域連合で行う事業と自主自立を

目指す町が行う事業との関係は

広域連合では補完的事業を行い基礎的自治体としての基本的事業の広域化はしない

向山 平成21年度からスター

トが予定されている、富良野広域連合は上富良野町にとって行政サービスがどのように向上することが期待できるのか。

また、この広域連合の設立に当たっては富良野圏域5市町村の将来構想も含めて協議されているのか、新聞の報道や会議録によると一部の首長さんは、広域連合は富良野圏域が将来一つになるためのステップである」という発言や、さらに、将来富良野圏域は一つであるという共通認識に立つ

町長 行政サービス向上に

いては当面現在五つある一部事務組合の事務を一つに集約化し総体的な経費の縮減と効率化を図り、その上で将来に向け住民サービスの向上に繋げたい。また、広域連合と富良野圏域の将来構想については現在5市町村で「広域連合」を設置し業務を始めようということが確認されている所であり将来のあり方については、それぞれの市町村で思う事で、委員会の中で将来についての発言もあるが、このことでの議論はしていない。また、将来は一つ」という発言をされている首長がいることは承知しているが検討委員会では広域連合の次は合併だ」という議論も結論も出てはいない。

今後の分権における権限移譲と自立の関係については上

富良野町としては、広域連合はあくまで特定の事務の補完的役割を担うものとして認識しており、基本的には基礎的自治体としての基幹をなす部分は広域行政で対応するべきではないと考えている。

縮小する町の財政状況下

町内循環資金が大きく減少しているが

将来に希望を持てるまちづくりに向けて努力していきたい

向山 行財政改革により町の

財政健全化はその成果が現れてきているが、一方では投資的事業の大幅な削減や各種事業の民間委託や移譲により、町外業者の参入が進み、町内で循環する総資金が大きく減少している。このような状況が続くとますます活力が失われる。

今後、まちの事業は極力町内事業者で担っていたり、また、あらゆる業種が垣

根を超えて連携し活性化を促す仕組みや体制整備を図るべきと思うが

町長 公共事業が大きく

減少しており、これが町内での循環資金の減少に繋がっている。しかし入札制度が厳しくなってきたこと

などから対応できない部分もあるが、基本的には地元で対応して欲しいと考えている。

また全ての業種、全ての町民が互いに手を携えた取り組み「協働」の重要さを認識し、これらに対応できる職員養成なども含め支援策を講じていく。



年々減少する公共事業

議会運営委員会が 先進地を調査



議会運営委員会は所管事務調査のため、平成20年1月15日から17日まで、後志広域連合にて「広域連合」について、白老町にて「議会改革の取り組み」について視察し、調査を行いました。

後志広域連合

● 広域連合について

後志町村会において、「今後の後志自治体のあり方」について町村長8名で検討会を設置し、将来的には管内町村が一つになることを視野に、合併を希望する地域は合併を進めながら、互いの連携と役割分担のもとに広域行政を進めていくとの認識で一致し、平成19年4月24日に16町村によって設立。税の滞納整理事務、国民健康保険事務、介護保険事務、広域化の調査研究事務を処理することとなった。

国民健康保険及び介護保険事務は電算システムの構築に時間を要し、21年度からの開始に向けて準備が進められていた。広域連合の経費負担割合は、町村会の負担割合と同じとし、共通経費（総務管理費、議会費等）は、均等割35%、基準財政需要額割65%となっている。

まとめ

後志地域において、地方分権が進むことにより各自治体で財力・行政力の向上を図る必要から合併の研究や協議を重ねたが、多くの課題があり実現には至らなかった。しかし、厳しさを増す地方行政にあって現体制で将来の自治体維持は困難との認識から広域連合発足へと至った。これは、現在発足に向け準備が進められている富良野広域連合と類似する点が多々

あり、特に富良野地方も後志地方も多くの自治体で「わが町」との強い思いがあり合併には至らなかったが、まちづくりに対する前向きな意識の表れであり、今後この住民力は大きな力になると思われる。

また、広域連合によっての行財政効果の点については直ちに大きな効果が表れるということは難しいが、後志広域連合では滞納処分を中心とした滞納整理を北海道から知識・技術に習熟した職員の派遣を受け実施している。財産の差し押さえなどは小さな自治体では町民が顔見知りなど、抵抗があるためこれまで行われていない状況にあったが、分納誓約などの推進を図り成果を上げている。

国民健康保険事業、介護保険事業については、平成21年度からの事務開始に向けて計画策定、条例整備、構成町村との詳細事務調整、システム構築が進められている。このことによつて事務量が削減された分、各自治体が職員の時間を有効に活用する意識改革につながらなければ真の効果は得られない。



職員体制や処理する事務など今後に残された課題は多いことが想定されることから、富良野広域連合の発足にあたっても、住民はもとより議会も積極的に関わり課題の解決と十分な効果を出すことへの努力が求められる。特に広域化によって住民サービスを向上させる分野と、町の将来を見据えて町自体で進めていく基本的な分野との兼ね合いも、住民の意見なども大いに反映させながら組み立て、広域行政も一方の柱とし、上富良野町が目指す自主自立が図れるよう町・議会ともに一層の努力を重ねるべきである。

白老町議会

● 議会改革の取り組みについて

白老町では、議会自らの権能により行政執行の適正さや有効性の監視など、これまでに以上に機能強化を求めた独自の見直しを期待される中、議長は「議会改革について」を議会運営委員会へ諮問した。

これを受け、議会運営委員会は「議会改革等に関する検討小委員会」を設置し、委員会を開催し、町民との意見交換会も2回実施して次の6項目18件の議会改革項目を答申した。

- 1 議員定数について
- 2 議員の視察研修について
- 3 議員の政策能力向上について

政策形成過程での議会の関与

各種制度の十分な活用

一般質問の活性化

会派の充実強化

議会図書室とOA機器の整備

議会議務局の体制強化

4 町民に親しまれる議会づくりについて

各委員会の地域別開催

議員の出前トーク

5 議会の情報公開

6 倫理条例の制定

● 自治基本条例の制定について

平成17年5月から条例策定が開始され、

7月に白老町自治基本条例策定に関する特別委員会を全議員で設置し、議会部分に関する条例素案の検討を5名の小委員会を開催し、その後、特別委員会を開催し条例案をまとめた。

自治基本条例策定委員会

(民間委員3名、議会委員2名、行政委員5名)が設置され、各部門の条例素案の全体的な検討を行い、町長へ答申し、平成18年12月に制定され翌月から施行された。



まとめ

議会改革は常に議論されており、その内容も広範多岐にわたっている。議会は住民の意思を的確に行政に反映させると共に情報を常に住民に知らせる役割が重要である。

白老町の各常任委員会は、町が政策立案する計画、構想などについて、政策形成過程の段階から所管事務調査として取り上げるとともに、町に協議を要請している。また、2班体制による議会報告会を正副議長が委員長となり行っていた。住民に親しまれる議会に向けて移動委員会の実施、議員活動として出前トークも行い、今後は広報

公聴委員会として出前トークの実施予定など、数々の改革の取り組みがなされてきている。議会改革において議員の資質の向上を図ること、住民の意見や要望をいかに早く吸収し行政に反映させるか、また議会の情報や町の状況を広く伝えるかなどの課題に対してきめ細かく、議会自ら町民と対話を図る取り組みなどは特に大事なことである。

自治基本条例の制定も行政、町民、議会が一体となり同時進行で策定作業を進めることが条例制定の意義を高めるとともに資質向上にも繋がる。

もっと知りたい まちのこと

No.3

ボランティア活動に
ズームアップⅡ

「もっと知りたいまちのこと」は前号に続いて、ボランティア活動にズームアップしました。今回は前回掲載した福祉関係以外で、いろいろな分野で活動に取り組んでいる団体や個人について調べてみました。

この他に私たちが気がつかないところでこつこつと活動を続けている人もいると思いますが、いろいろな人たちの善意が明るいまちづくりに貢献している様子が伺えました。

子供とのふれ合いを通じて色々な活動がされている大西さんに特に絵本の読み聞かせのボランティアについてお話を伺いました。



「ムーミンの会」代表の大西さん

大西さん 読み聞かせは上小で「トトロの会」を引き継ぐかたちで4人の仲間と「ムーミンの会」として活動しています。19年度は33回行いました。子供と向き合うことで贅沢な時間を過ごしています。話が終わった後の子供の表情で楽しんでくれたことが手に取るようにわかります。そんな時充実感を覚えます。

続けていく過程で気付いたことや感じることは？

大西さん

活動にあたっては、やはり周りの人の協力がなくて、地域に根ざした感覚でとなると、家族、地域、学校などの連携なくしては難しく、色々な方に参加してもらい、理解して欲しいと思っています。これからも肩肘張らずに自然体の活動を続けて子供の感受性を伸ばして行きたいと思っています。

読み聞かせを聞いた児童の感想

上小の2年3組のみんなは楽しみにしています。自分で読むのも好きだけど、ボランティアの先生に読んでもらうのが本当に楽しみです。

「月がくれた金か」も貧しい人が騙されるけど、最後には幸せになって良かったと思います。本を読んでお友達と仲良くしたり優しくしようと思います。



ムーミンの会のほかにも、いくつかの団体が図書館や学校で、絵本などの読み聞かせを行っています。

ボランティア活動をしている団体・個人の紹介（福祉関係以外）

団体名・代表者名	会員数	活 動 内 容	備 考
よ つ ば の 会 代表 大塚 広子	不特定	図書館の新聞の切り抜きなど	昭和53年4月1日設立
読 み 聞 か せ 会 代表 荒井悦美子	3名	図書館、学校での絵本などの読み聞かせ	平成19年4月1日設立
公 民 館 友 の 会	41名	公民館活動への支援・文化祭の支援 古紙を回収して本の寄贈	昭和55年5月9日設立
観 光 ボ ラ ン テ ィ ア の 会 代表 松下 力	約25名	駅前観光案内所・見晴台公園案内所など	平成12年5月19日設立
上 富 良 野 高 等 学 校 子 育 て 支 援 ボ ラ ン テ ィ ア	5名	春、夏、冬休みなど子供預かりと保育支援 高校生が上富良野高田幼稚園で活動している	平成17年4月1日設立
読 み 聞 か せ 会 旭川大学短期大学生	15名	図書館での読み聞かせ会	平成18年5月27日から活動
上 富 良 野 町 商 工 会 女 性 部 部 長 立 松 幸 恵	117名	プランターの花植え、交通安全の街頭啓発、 新1年生にマスコットのプレゼントなど	昭和46年3月28日結成
上 富 良 野 町 商 工 会 青 年 部 部 長 富 山 太 績	38名	交通遺児募金、交通安全啓蒙及び 地域環境整備(公園・学校遊具補修)など	昭和41年11月27日設立
ム ー ミ ン の 会 代表 大西 邑子	4名	絵本の読み聞かせ(上小で)、図書館での読み聞かせ会、 7ヵ月児乳児相談時のブックスタート	平成19年4月1日設立
野 山 人 代表 佐川 泰正	15名	自然と人とのふれあいを通じて環境や人づくりを行う サマーキャンプ、サイクリングキャンプ支援など	平成18年4月1日設立
旭 住 民 会 会 表 村 上 満	16名	地域安全パトロール、防犯、交通安全支援など	平成17年4月1日設立
栄 町 住 民 会 会 表 足 立 愨	約30名	児童の登下校交通安全支援 道路美化運動及び地域防犯など	平成17年4月1日設立
東 明 住 民 会 会 表 丸 田 武	43名	見守り隊として交通安全支援、防犯支援など	平成18年4月1日設立
泉 町 住 民 会 会 表 米 澤 義 英	10名	見守り隊として登下校の児童の交通安全支援 及び防犯支援など	平成18年4月1日設立
丘 明 (わ か ば 会) 代表 坂下 達次	6名	児童の登下校の交通安全支援及び防犯パトロール	平成19年6月1日設立
丸 一 山 花 と 緑 の 会 代表 金子 隆一	26名	丸一山の桜の植樹と手入れ	平成18年4月1日設立

上記の内容は3/31現在までの活動及び代表者名簿となります。
上記に記載されていないボランティア団体、誤字、編集内容に
お気付き点がありましたら議会事務局へお知らせ下さい。

あなたにもできます
ボランティア活動は人と人とのふれあいの輪を広めます。
特別なことではなく、町内会、子ども会、PTA、各種団体、サークルのお世話など、身近なところであなたの出番を待っています。
ひとりが多くの役割を背負うのではなく、町民一人ひとりがそれぞれ興味のあることや、得意なことなどで社会に貢献する。あなたの時間の一部を、町のために使ってみませんか。



交通安全支援をしている地域住民



遊具の手入れをする商工会青年部

議会の“窓”

事務局の人事

4月1日の人事異動により、議会議務局職員が異動がありました。

議会議務局主査 深山 悟
 (前総務課企画財政班主査)

前議会議務局主査 大谷 隆樹
 (教育振興課学校教育班へ)

功績を称えて

徳島 稔前町議会議員が議員活動27年以上の功績により全国町村議会議長会から、表彰を受けました。徳島前議員は昭和54年に初当選し7期にわたり在職しました。



中富良野町議会議員会と交流研修会を開催

議員会主催による中富良野町議会との交流研修会が1月31日に開催されました。研修会では2つのグループに分かれ、葬斎場の委託、町立病院の運営、広域連合などについて意見交換が行われ、両町における共通の課題や独自の課題について認識を深めました。

議会の動き

- 【2月】
- 4日 総務産建常任委員会
- 13日 議会運営委員会
- 15日 富良野広域市内草地組合議会
- 18日 厚生文教常任委員会
- 20日 総務産建常任委員会
- 21日 厚生文教常任委員会
- 26日 議会運営委員会
- 27日 議員協議会
- 29日 議会広報特別委員会
- 富良野地区環境衛生組合議会
- 【3月】
- 3日 消防議員協議会
- 4日 上川南部消防事務組合議会
- 第1回定例会(1日目)
- 5日 厚生文教常任委員会
- 第1回定例会(2日目)
- 11日 厚生文教常任委員会
- 第1回定例会(3日目)
- 12日 第1回定例会(4日目)
- 議員協議会
- 13日 厚生文教常任委員会
- 第1回定例会(1日目)
- 14日 予算特別委員会(2日目)
- 17日 予算特別委員会(3日目)
- 18日 予算特別委員会(4日目)
- 厚生文教常任委員会
- 19日 議会広報特別委員会
- 第1回定例会(5日目)
- 【4月】
- 3日 議会広報特別委員会
- 10日 総務産建常任委員会
- 14日 富良野広域連合調査特別委員会
- 14日 議会広報特別委員会

随感随筆

第1回定例会は平成20年度予算と厳しい財政状況を反映し、厳しくも活発な質疑により、13項目の審査意見を付して一部修正し可決しました。町民の皆様と一緒に議会も予算執行を見守り、十分な監視もしていきたいと思っています。

温暖化に伴い、世界規模での異常気象のニュースにいとまのない今、豪雨、干ばつのない、穏やかな一年であり、町民一人ひとりが実りの多い年であることを願っています。

6月の定例会から質問方式を一問一答に変更して開催する予定です。議員の資質向上はもとより、理事者側の具体的な答弁も引き出せるものと思っています。お互いの向上が狙いで、ミスマッチが起きないように緊張感の中の取り組みに期待してください。

時間の制限など細部についてはまだ決まっていますが、町民の皆様により多くの傍聴をお待ちしています。

(谷 記)

- 委員長 岩田浩志
- 副委員長 金子益三
- 委員 谷 忠
- 今村辰義
- 和田昭彦
- 佐川典子

議会の様子を見にきてください！ 次回は6月中旬頃の予定です。

発行/上富良野町議会 印刷/㈱上富印刷
 〒071-0596 北海道空知郡上富良野町大町二二二
 電話(0167)4516992 伝(0167)4515362